

第4期幸区区民会議 第10回専門部会（みんなで見守りたい）

日時 平成25年10月30日（水）午後6時半開始
場所 幸区役所 5階第3会議室

議 事 次 第

- 1 インタビューの実施結果について
- 2 提言内容等について
- 3 区民会議フォーラムの実施内容について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 その他

今後の区民会議日程について

○第11回専門部会（みんなで見守りたい）

平成25年12月11日（水）18：30～

地域包括支援センター インタビュー調査結果（案）

目的 ◎地域包括支援センターに関する仕組みや現状について伺うことで、「見守り」を取り巻く現状についての認識を深める。
◎地域包括支援センターと見守りの関係について伺うことで、現状における課題を把握し、今後の地域における見守りの体制のあり方などを検討する。

1 当日の調査概要

- 日時 平成25年10月8日（火）13:30～14:00
- 場所 幸区役所3階第4会議室
- 参加者 古場部会長、遊佐委員、春田委員、鈴木都委員、原委員
事務局 企画課早川職員、佐谷（計画技術研究所）
- 調査対象 深井氏（かしまだ地域包括支援センター）、
大塚氏（幸風苑地域包括支援センター）、
深堀氏（しゃんぐりら地域包括支援センター）、
城詰氏（夢見ヶ崎地域包括支援センター）、
工藤氏（さいわい東地域包括支援センター）

2 当日の様子



3 ヒアリング結果

①地域包括支援センターの仕組み、現状について

◆地域包括支援センターの現状について

- ・地域包括支援センターの職員数は、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3職種が各1名ずつの計3名が最低数であり、通常は高齢者が5,500名未満の場合は4名、それ以上は5名の職員がいることが多い。
- ・2、3時間は残業していることが多い。新規の相談があると時間がかかる。
- ・制度が始まった当初は地域包括支援センターでケアプランを作成していたが、現在は外部に委託し、地域包括支援センターは地域に出るようにしている。地域の課題を吸い上げて、それに対応するようにしている。
- ・人材の確保が課題でなかなか定着しないことが多い。

◆業務の流れ、対応について

- ・通常は、電話等で相談を受けた人がその内容をまとめることになるが、職員で情報を共有して担当を決めるなど、組織を活かして活動している。
- ・職員が休むことはあるので、個人ではなく、組織として対応するようにしている。

②地域包括支援センターと見守りの関係について

◆地域包括支援センターと見守りについて

- ・区民会議が見守りに取り組んでいることは、地域包括支援センターとしては心強い。一緒に考えていけたら良いと思う。

◆見守り活動の窓口やその対応について

- ・見守りについての相談窓口は、行政と地域包括支援センターと考えている。実際には民生委員にも関わってもらえる場面も多いと思うが、一義的にはその2つになる。
- ・地域包括支援センターではワンストップサービスを心がけているので、話を聞いた上で、対応できる所を紹介するなどしている。見守りに関することは、基本的に何でも相談して欲しいと考えている。例えば東日本大震災の後、ガラス屋さんを紹介してほしいという電話があった。
- ・時間外の相談は、電話については転送されるようにはなっているが、すぐに対応することは難しいことが多い。

③地域での見守りの体制について

◆地域包括支援センターの存在を知ってもらうことが重要

- ・自分自身の経験から言うと、相談先として地域包括支援センターに辿り着くまでに時間がかかったが、その後はとても頼りになった。高齢者の一人暮らし場合、地域包括支援センターまで辿り着けるか疑問である。
- ・地域包括支援センターが高齢者対応の窓口になっていることが認知されていない。
- ・数年前に市のアンケートで認知度を調査したら4割ぐらいだった。例えば、地域包括支援センターに直接つながる短縮ダイヤルなどがあると良いと思う。

◆地域包括支援センターの幅広い活動を知ってもらい、見守りと連携する

- ・地域包括支援センターでは、高齢者のことだけでなく、子どもに関する相談なども受けるようになっている。地域に出て顔を覚えてもらえるようにしているので、見守り活動とも連携していきたいと思っている。

区民会議提言案

◎みんなで取り組む、ひとり暮らし高齢者等が元気に安心して暮らせるまちづくりに向けて
(みんなで見守りたい関係)

提言 1 : ひとり暮らし高齢者等の異変を見つけた場合の対処方法などをまとめた冊子を作成・活用し、見守り活動の裾野を拡大することを提案します。

《趣旨》

- 他人への無関心、隣近所との付き合いの希薄化などにより、地域における結びつきや共に支え合う関係が年々弱くなってきているとともに、高齢者単身世帯など高齢者のみの世帯が増加しています。こうした中で、高齢者の孤独死の問題などが大きく取り上げられており、これらの方々を地域で見守る関係を強化していくことが必要と考えます。
- 地域では、町内会・自治会や民生委員児童委員、地域包括センターなどを中心とした見守り活動や、川崎市と新聞販売組合や生活協同組合などの事業者との協定に基づく見守り活動など様々な取組が行われています。これらに加えて、高齢者が地域で元気に、安心して暮らせる地域づくりを進めるには、地域ぐるみの見守り活動の充実が必要と考えます。
- そのためには、見守り活動に参加する人たちの裾野を拡大していくことが重要であり、個人でもできる見守り活動や、近所に住む高齢者の異変等を発見したときの対処方法などをまとめた冊子※を作成し、活用していくことが必要と考えます。

※冊子のイメージを●ページに掲載

提言 2 : 見守り活動に関するサポートなどを気軽に相談できる窓口や、情報発信を充実させることを提案します。

《趣旨》

- 地域で見守り活動を始めようとしている人、又は、既に活動を行っている人などが気軽に相談したり、必要な支援を求めたりする窓口が必要と考えます。
- 見守り活動を効果的に行うには、必要な情報が容易に入手できることが重要です。そのため、ホームページや広報紙の充実など、市の情報発信力が一層充実されることが必要と考えます。

第4期幸区区民会議報告書 構成イメージ案

1 区民会議の仕組み

- (1)区民会議とは
- (2)課題解決の流れ

2 地域課題に基づく審議テーマの検討

- (1)各委員からの地域課題の提案
- (2)地域課題の集約による審議テーマの選定
- (3)専門部会の設置

3 各部会の調査審議の方針及び検討内容

- (1)暮らしの安全部会
 - ア 調査審議の方針
 - イ 検討内容
- (2)みんなで見守りたい
 - ア 調査審議の方針
 - イ 検討内容

4 区民会議からの提言

- (1)地域における防災力の向上（暮らしの安全部会関係）
- (2)自転車の交通ルールの推進（暮らしの安全部会関係）
- (3) みんなで取り組む、ひとり暮らし高齢者等が元気に安心して暮らせるまちづくりに向けて（みんなで見守りたい関係）

5 参考資料

- (1)区民会議委員、参与の構成
- (2)全体会議、専門部会の開催状況
- (3)区民会議フォーラムの開催概要
- (4)幸区の現況の把握（区民アンケート調査）
- (5)関係規程

ひとり暮らし高齢者等に対する見守り活動の促進に向けた冊子の作成のあり方（案）

1 基本的な考え方

- (1)ひとり暮らしの高齢者等に異変があった時に、周囲の人たちがいち早く気づき、必要な対応が図られるよう、見守り活動に携わる人の裾野を拡大することを目的とする。
- (2)個人でも高齢者等の見守り活動ができることを理解してもらい、活動を始めるきっかけとなるようにする。
- (3)高齢者等の異変を把握するためのチェックポイントや、異変を発見した場合の対応の仕方など、具体的な活動に即した内容について掲載することが考えられる。

2 見守り活動の対象者

(1)見守りが必要な人

- ア ひとり暮らしの高齢者
- イ 高齢者のみの世帯の人 等

(2)見守り活動を支える人

- ア 高齢者等の近所に住んでいる人
- イ 通学や通勤の途中によく見かけるなど身近に高齢者等がいる人
- ウ 自営業者などで顔見知りの高齢者等がいる人 等

3 見守り活動の効果

- (1)ひとり暮らし高齢者等の周囲からの孤立化の防止
- (2)交通事故や火災、盗難等の犯罪被害に巻き込まれるリスクの低減
- (3)問題を早期に発見することで、問題の複雑化・深刻化の防止
- (4)地域で顔の見える関係作りの促進

4 見守り活動を行う上での留意点

(1)コミュニケーションを交わせる良好な関係を築く

あいさつや声掛け積極的に行うなど、日頃から良好な人間関係を構築するように努める。(このことにより、ひとり暮らしの高齢者等に何らかの異変が生じたときには、迅速な発見や対応が可能となる。)

(2)無理をしない

- ア 無理をせず、できることを行う。
- イ できないことは、町内会・自治会（以下「町内会等」という。）、区役所、民生委員児童委員（以下「民生委員」という。）等に相談して専門機関につなげるようにする。

(3)相手の立場に立つ

- ア 「やってあげている」といった態度にならないよう、対等な立場で向き合うようにする。
- イ できる限り、さりげない見守りを心がけるとともに、相手のプライバシーを尊重することに十分留意する。

(4) 個人情報の適正管理に留意する

ア 知り得た個人情報は、他に口外しない。

イ 個人情報を関係機関などに外部提供する必要がある場合は、原則として、本人の了解を得た上で行う。

5 見守り活動の取組方法

次のような対応をとりながら、見守り活動に取り組むことが考えられる。

(1) 顔を合わせたときにはあいさつを交わすなど、積極的にコミュニケーションをとりながら、高齢者等に異変や困りごとがないかなど、日頃から高齢者等の様子に気を配るようにする。

(2) 次のチェックリストを参考に、高齢者の状況等を把握するとともに、該当項目がいくつかあるなど、その時の状況等を総合的に勘案して、「連絡・相談窓口」に連絡をする。

…緊急性・重大性が高いと判断されるような場合で、犯罪被害等に関する場合は警察に、急病・怪我等に関する場合は消防に、それぞれ通報・連絡するなどの対応が考えられる。

…発見者自身が対応できることであれば高齢者等の手助けや助言をする（例えば、その高齢者の具合が悪そうであれば病院に行くことを進めるなど）。

表 チェックリスト

	チェックポイント		連絡・相談窓口
安否が心配される例	<input type="checkbox"/>	最近姿を見かけなくなった	《想定例》 ◎幸区役所高齢・障害課 ◎地域包括支援センター ※緊急性・重大性が高いと判断されるような場合で、犯罪被害等に関する場合は「110番（警察）」に、急病・怪我等に関する場合は「119番（消防）」へ通報・連絡
	<input type="checkbox"/>	洗濯物が何日も干したままになっている	
	<input type="checkbox"/>	何日も、 { 夜間に灯りが点かない 日中に灯りが点きっ放し	
	<input type="checkbox"/>	何日も、窓、カーテン、雨戸が開閉された様子がない	
	<input type="checkbox"/>	新聞、郵便物が数日分たまっている	
	<input type="checkbox"/>	ごみが放置されていたり、庭が荒れている	
心身の状態が心配される例	<input type="checkbox"/>	いつも同じ服や季節に合わない服を着ていたり、服が汚れたり破れたりしている	
	<input type="checkbox"/>	具合が悪そうに見える	
	<input type="checkbox"/>	家から怒鳴り声や物を投げつける音が聞こえる	
	<input type="checkbox"/>	近隣とのトラブルが目立つ	
	<input type="checkbox"/>	見慣れない人が頻繁に訪ねている	

第 4 期幸区区民会議フォーラム実施概要（案）

1 目的

幸区区民会議での取組や提言内容等を具体的に報告し、地域の課題解決に向けて、より一層の区民の参加と協働を呼びかける「幸区区民会議フォーラム」を開催し、区民会議の認知度向上も含め、区内での取組を推進する。

2 日時

平成 26 年 3 月 16 日（日） 14：00～16：00

3 会場

幸市民館大会議室

4 対象

区民全般（定員：100名程度）

- ・市政だより区版、区ホームページへの掲載
- ・各区民会議委員が所属団体で周知
- ・その他、テーマに関連する団体への広報

5 構成 ※全体で 1 時間半程度を想定

(1) 区民会議の取組紹介（60分程度）

部会ごとの報告＋パネルディスカッション形式

【パネラー等】

◎区民会議委員（各部会 1 人×2 部会＝2 人）

みんなで見守りたい：

◎テーマ関係者（各部会 1 人×2 部会＝2 人）

みんなで見守りたい：

候補（介護支援専門員連絡会幸区代表幹事 出口氏、地域包括支援センター センター長、社会福祉協議会関係者、民生委員児童委員関係者、なぎさニュータウン自治会関係者等）

◎コーディネーター：別途検討

(2) アトラクションなど(30分程度) ※以下敬称略

①落語

喜楽亭笑吉(川崎市職員)、清流亭いしあたま(幸区在住)

②コンサート

夢こんさあと関係、中学生吹奏楽、花川由香(幸観光大使)、川崎純情小町、など

③防災パフォーマンス

阿部 清人(サイエンスインストラクター)

…防災エンショー(防災+サイエンスショー)

くぼ てんき(紙芝居師、東京都認定の大道芸人)

…「紙芝居を使った“防災の話”」

らんま先生(eco 実験パフォーマー/環境省認定 環境カウンセラー)

…防災 eco 実験教室

④講演

◎防災関係

岡島 醇(市民防災研究所特別研究員、2000年～2005年市建設局防災対策室防災企画専門員)

…第2期高津区区民会議フォーラム講演「地域防災力の向上をめざして」

饒村 曜(著述業/減災コンサルタント)

…地震のときの知恵袋

◎自転車関係

星 周一郎(首都大学東京都市教養学部教授、警察庁懇談会委員)

…「自転車を活かすまちづくり～自転車の安全利用と交通ルール～」

斉藤 健一郎(日本損害保険協会)

…「自転車の交通事故とその責任」

◎見守り関係

吉田 太一(遺品整理業キーパーズ(有)代表取締役)

…さだまさし原作の映画「アントキノイノチ」のモデル。孤独死による遺品整理の現場で感じたことについて講演

木原 孝久(住民流福祉総合研究所所長)

…「孤独死も防げる地域の見守り術とは」

⑤参加者体験型の催し(健康体操、合唱)

「Let`sトラビック!～エアロビックで交通安全」(県警交通安全教育隊)

「小百合おばあちゃんと〇×クイズ」(県警交通安全教育隊)

(3) 防災、自転車、見守り等の標語募集（事前）と表彰式

こどもの自転車標語（こどもネットワーク会議）

※参考 各区におけるフォーラムのアトラクション

	第1期	第2期	第3期	第4期
川崎区	アトラクションなし	アトラクションなし	落語(喜楽亭笑吉) 被災地派遣職員報告(消防) 講演(大下勝巳氏)	コンサート(消防音楽隊) 環境問題ポスター表彰式
幸区	落語(清流亭いしあ たま)	コンサート(塚越中)	コンサート(すまいるぴーと)、 被災者講演	
中原区	アトラクションなし	コンサート(文化協会)	コンサート(富士通)、ダンス (中学生)、講演(フロンターレ)	
高津区	アトラクションなし	講演:地域防災力の向 上(市民防災研究所 岡 島氏) 記念品(東電よりノー ト、クリアファイル提供)	講演:震災とコミュニティ(大妻 女子大吉原教授) 試食(たちばな野菜の味噌汁、 蜂蜜カステラ等)	
宮前区	アトラクションなし	アトラクションなし	落語(喜楽亭笑吉)	ウォークラリー、クイズ、み やまえカルタ(賞品有)
多摩区	アトラクションなし	アトラクションなし	アトラクションなし	
麻生区	アトラクションなし	講演:生ごみリサイクル (東農大後藤教授) 講演:ご近所の底力 (NHK)	講演:無縁社会(NHK) 講演:生ゴミと食育(NPO 代 表)、記念品(生ゴミ肥料)	講演:災害とコミュニティ(明 大園田教授)、防災対策(東 大目黒教授)

(4) その他

- ・交通安全啓発ブース（J A Fシートベルトコンビンサー、サイクルシミュレーター、視機能診
断機）
- ・パネル展示
- ・記念品配布（区の木・区の花グッズ、夢見グッズなど）、ヤマブキ苗

6 今後の進め方

- ・各専門部会での実施内容検討（10月～12月）
- ・企画運営部会での調整（1月）
- ・第5回区民会議での決定（2月）

※各専門部会での検討をもとに事務局で調整しますが、状況に応じて臨時に企画運営部会を開催し、検
討・調整を進めます。

「第4期幸区区民会議」スケジュール(案)(平成25年10月30日現在)

資料5

	平成24年度									平成25年度									平成26年度			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月
■ 全体会議	7/23 第1回				11/12 第2回				3/18 第3回				7/8 第4回							2/3 第5回	3/16 「第4期区民会議フォーラム」の開催	「報告書」のとりまとめ等
■ 企画運営部会				10/29 第1回				3/11 第2回			6/24 第3回							1/20 第4回				
■ 専門部会 暮らしの安全部会			9/3 第1回 9/26 第2回			12/14 第3回	1/23 第4回	2/15 第5回	4/19 第6回	5/27 第7回		8/7 第8回	8/28 日吉中ワークショップ	9/20 第9回	10/6 スケアードストリート リレーカーニバルでの	11/1 第10回	12/13 第11回					
■ 専門部会 みんなで見守りたい		8/30 第1回	10/3 第2回			12/12 第3回	2/4 第4回	2/26 第5回	4/22 第6回	5/29 第7回		8/26 第8回	9/25 第9回	10/30 第10回 今日の会議		12/11 第11回						